

## 「植物と人々の博物館」 2016 年の予定

### 1. 日本村塾 *Nihonmura* College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」( *Sobibo* ) を勧める。

#### 1) 扶桑くにゼミ第 3 回

日時: 4 月～ 5 月の土曜日予定、小金井、読書会: 推薦図書:『銃・病原菌・鉄』、上 1900 円、下 1900 円、ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社。ほか検討中、ご意見があれば、お知らせください。

#### 2) 自給農耕ゼミ第 4 回 4 月～ 5 月未定、藤野、

3) 民族植物学ゼミ第 3 回 日時: 5 月 4 日(水・祝)小菅村 植物と人々の博物館 公開解説と小展示「欧米の雑穀」。読書会推薦図書:『生業から見る日本史』、国立歴史民俗博物館編、2008、吉川弘文館 3000 円。購入不要、資料は木俣研究員が用意します。小菅村源流祭り、INCH お祭りキャンプもあります。

4) 自給農耕ゼミ第5回 日時: 5 月 14 日(土)小菅村 雑穀栽培講習会は地元講師による伝統的な栽培法の指導。雑穀概説は木俣研究員がする。

日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの種子が必要な方には少量なら差し上げられます。お知らせください。

### 2. 環境学習セミナーの準備状況

1) 第 37 回、6 月 25 ～ 26 日(土・日)、小菅村、山村の豊かさを学ぶ座談会と実技講習、ミュージズ研究会担当。話題提供者:山下祐介さん(首都大学東京)、白水智さん(中央学院大学)ほか。

2) 第 38 回、9 月 3 ～ 4 日(土・日)、小菅村、自然と暮らす伝統知座談会と実技講習、自然文化誌研究会担当。話題提供者:佐々木豊志さん(くりこま高原自然学校)ほか。小永田のお神楽見学。

### 報告 植物と人々の博物館活動

#### 1) 森とむらの図書室の蔵書

原沢文庫(約 1500 冊)は藤野倶楽部の安心農園「無形の家」内にある森とむらの図書室藤野分室に 3 月 4 日に、自然文化誌研究会の軽トラックによって、すべて移

動完了しました。小菅では、現在は山村・森林関係、環境・教育関係の図書を優先して整理しています。

蔵書整理状況は下記個人 HP の「森とむらの図書室」にあります。

2) 雑穀のさく葉標本の調査、整理をしています。

3) 民族植物学ノート第 10 号は 2016 年 3 月末頃締切で原稿を募集しています。

e- メールなどで木俣までお申し込みください。

バックナンバーは下記の公式 HP 植物と人々の博物館(ミュージアムグッズ)で読めます。冊子版の第 1 号はなくなり、第 2 ~ 6 号は若干の在庫があります。第 7 ~ 8 号はまだあります。第 9 号雑穀特集英文は配布中です。

.....

植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村(トランジション小菅)のコア博物館です。

これは NPO 自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携協定に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅の暮らしと関係づけて 展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ(自給農耕、民族植物学、扶桑こく)、環境学習セミナーなども開催しています。

雑穀街道(さあ山村)を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道(いざ鎌倉)と反対方向に創ることを提案しています。

**現在の日常活動** ボランティア研究員として、協力していただけると嬉しいです。

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理、特別展の企画・作製、希望により解説もします。
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイ・中央アジアほか欧米諸国の関係図書の整理、番号付をしています。希望により閲覧できます。